

No.5駅周辺
提言書骨子
(地域資源)
(事務局案)
資料5-2

第4回 No.5駅周辺まちづくり協議会

1 上位・関連計画での 方向性・位置付け

1) 多摩都市モノレール沿線まちづくり方針

各駅周辺では、それぞれの**地域の特徴を生かしたまちづくり**が求められている。

地域資源

- 都立武蔵村山高校
- 総合体育館
- 里山民家
- 多摩開墾
- 山王森公園
- 三ツ木地区学習等
供用施設
(三ツ木地区会館)
- 残堀川

市民の方々と考えた
地域の将来像

まちづくりのテーマ

～帰ってきたいと思える緑のまち～

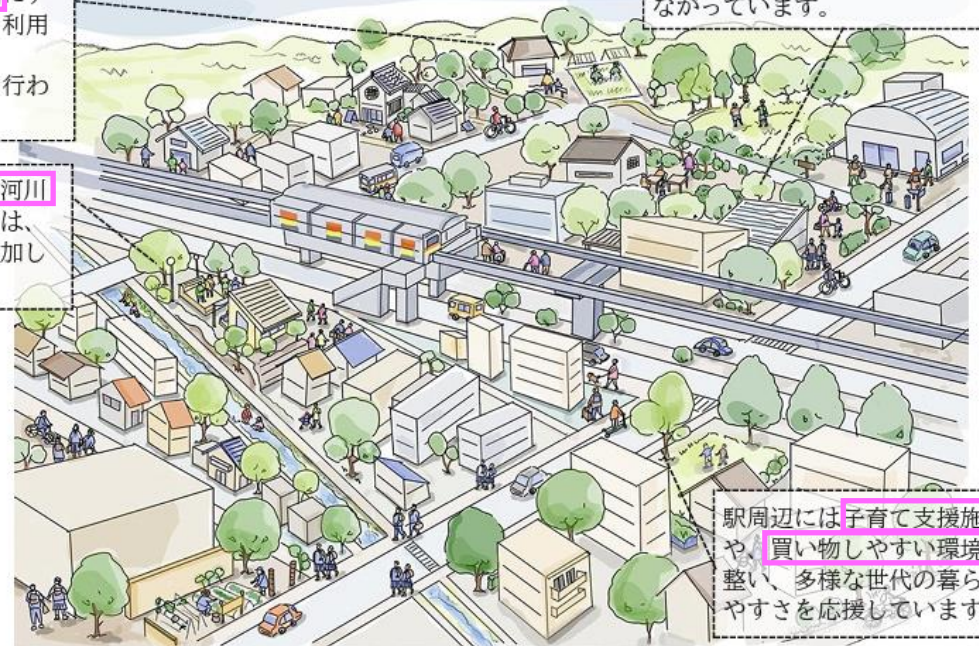
子どもが伸び伸びと育ち
住み続けたいと思えるまち

将来イメージ

里山民家や総合体育館にアクセスしやすくなり、利用者が増加しています。また様々な**イベント**も行われています。

残堀川親水緑地広場や河川を活用した**イベント**では、子どもから大人まで参加しにぎわっています。

青少年向けの居場所では、学生や子どもたちが自分たちの意思で過ごすことができ、子どもたちの成長につながっています。



駅周辺には子育て支援施設や**買い物しやすい環境**が整い、多様な世代の暮らしやすさを応援しています。

イメージは将来的な建築物及び道路等の配置を示すものではありません。

2 地域資源の概況

1) 地域資源に関する委員からの主な意見

里山民家等の歴史・文化資源

- 古民家、里山といった地域の特性を生かしたにぎわいづくりを実現できるとよい。
- 里山民家に抜ける道等、重要な箇所を無電柱化すると写真スポットにもなってよい。
- 神社仏閣のPRをし、地域の歴史や文化資源を発信するインフォメーション機能があるとよい。

武蔵村山高校

- 武蔵村山高校を生かし、産学連携の取組を進めてほしい。
- 学校外で部活動を行う場や、地域の人が学校で活動を行うような仕組みが出来る
とよい。

三ツ木地区会館

- 会館の規模や設備が不足している。
- 会館を活用し、地域の核となるような施設になるとよい。
- 既存施設のリニューアルも検討すべきである。

ほかにも重要な
視点はあるか？

2) 資源の分布

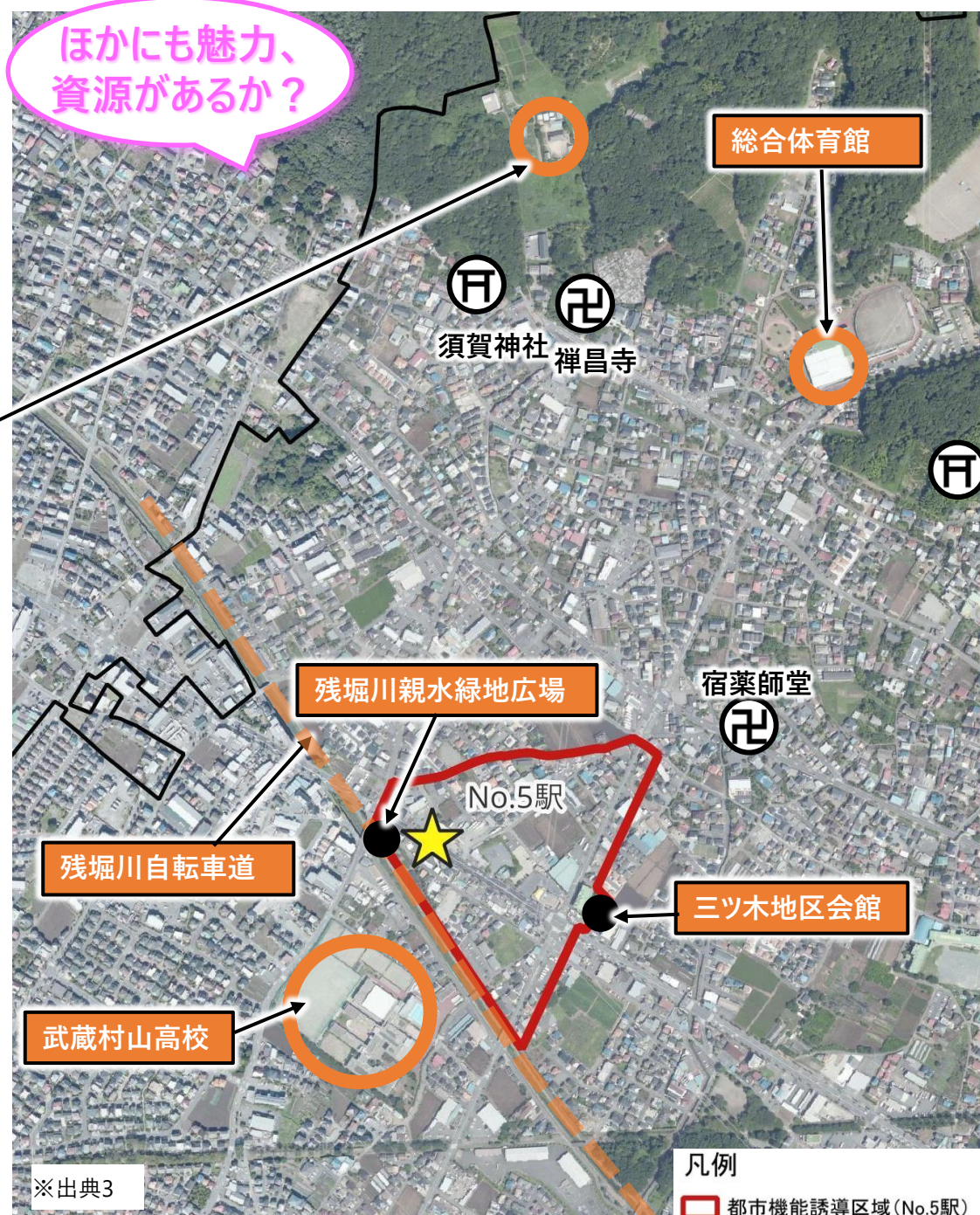
- No.5駅の近くには**残堀川**及び**残堀川親水緑地**がある。
- 駅の北側を中心に**里山民家**など資源が点在している。

里山民家



※出典1、2

※出典1：武蔵村山市ホームページ
 ※出典2：武蔵村山観光まちづくり協会ホームページ
 ※出典3：航空写真（国土地理院）



※出典3

凡例

都市機能誘導区域 (No.5駅)

3 地域資源

1)里山民家等の地域資源の活用

■基本的な考え方

- 駅周辺に**点在する地域資源**を、No.5駅周辺のまちづくりに活用することが求められている。



- 地域の資源である里山民家や総合体育館等を**活用**し、No.5駅周辺のにぎわいを創出する。
- 里山民家や市内に点在する寺社仏閣などの歴史・文化資源の**魅力を発信**する。



視点

(1) **里山民家**の活用と魅力向上

(2) **歴史・文化資源**の魅力発信

(3) **総合体育館**の利活用

(1) 里山民家の活用と魅力向上

視点	望ましい取組
・里山民家の 活用	・憩い、活動できる空間の創出
・里山民家への 道のり も含めた魅力向上	・No.5駅から里山民家や総合体育館への交通手段の確保 ・蔵を利用したカフェ等の住宅地と調和した店舗の立地誘導 ・里山民家に至る道の無電柱化による景観向上・フотスポット化

【参考】里山民家（建物内）



民家を復元した母屋
の中では、囲炉裏
（いろり）を楽しむこ
ともできる

里山民家には、竹馬やかると、けん玉、
コマなど、昔ながらの遊び道具が置いて
あり、誰でも無料で遊べる



【参考】駅から里山民家や総合体育館等へのつ
なぐりのイメージ



出典：広報東京都ホームページ、武蔵村山観光まちづくり協会ホームページ

(2) 歴史・文化資源の魅力発信

視点	望ましい取組
・寺社仏閣や里山の歴史の積極的な活用・PR	・観光まちづくり協会と連携したPR活動 ・寺社仏閣の祭礼への参加促進 ・高校や小中学校における学習との連携

【参考】寺社仏閣の例（須賀神社）



出典：東京神社庁

【参考】寺社仏閣の例（宿薬師堂）



出典：武蔵村山市商工会ホームページ

【参考】学習との連携例（まちづくり学習）



- ✓ まちづくり学習での一場面
- ✓ 実際に使用されている祭具のスケッチをする小学生
- ✓ 向かって右から天狗、太郎獅子、次郎獅子、花子獅子
- ✓ まちづくり学習で描かれた絵の一部がラッピング車両に採用されている。

出典：武蔵村山市

【参考】学習との連携例（里山保全活動）



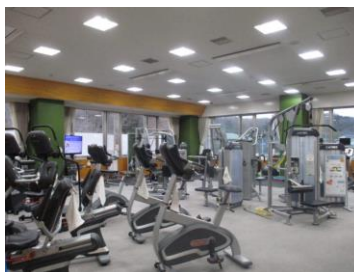
- ✓ 武蔵村山高校では体験活動として里山民家での外来種除去活動を実施

※出典：武蔵村山高校ホームページ

(3) 総合体育館の利活用

視点	望ましい取組
・若者の 活動の場 として活用	・学生の部活動の場として利用
・運動公園機能の 拡充	・屋外運動場の整備

【参考】総合体育館



【参考】屋外運動場



課題、活用の希望
などはあるか？

2) 若者の居場所づくり

■基本的な考え方

- No.5駅周辺のまちづくりを進めるにあたり、
武蔵村山高校等との連携や**三ツ木地区会館の活用**が求められている。



- 武蔵村山高校等、教育機関と地域の連携を推進し、
若者の活動場所と**地域活動の場**を創出する。
- 三ツ木地区会館の再整備を検討し、
若者の居場所や**地域の交流の核**となる施設として活用する。



(1) 若者と地域の連携

(2) 三ツ木地区会館の再整備

3 (1) 若者と地域の連携

視点	望ましい取組
・若者の活動の 場 や 居場所 を創出	・残堀川などの地域資源を生かした、活動場所の創出 ・Wi-Fi完備の自習・学習スペース ・ゆっくりできる飲食店の誘導
・学生と地域活動の 連携	・市、地元企業、高校生が連携した地域の課題解決の取組 ・武蔵村山高校での地域活動の実施 ・校外での部活動の場の創出

【参考】残堀川親水緑地広場



【参考】市、地元企業、高校生が連携した地域の課題解決の取組例



- ✓ 武蔵村山高校では、「地域連携研究」と題した取り組みを実施
- ✓ 地域の企業・行政機関から、生徒に向けて地域課題や企業課題を提示してもらい、生徒がグループで課題解決に取り組み、成果を発表する



出典：武蔵村山高校ホームページ

(2) 三ツ木地区会館の再整備

視点	望ましい取組
・学生を中心とした若者の 居場所 づくり	・Free Wi-Fi完備の自習・学習スペースの設置 ・飲食可能なカフェ的空間の設置 ・利用したくなる外観デザインへの刷新
・機能の 充実と多目的化	・図書館機能の再考 ・会議のための設備拡充 ・部屋数の増加 ・楽器の制限のない防音室
・多世代が交わる 交流プログラム の展開	・高校生による高齢者向けスマートフォン講座等の世代間交流 ・産学連携による講演会・講座の開催

【参考】三ツ木地区会館



出典：武蔵村山市ホームページ

■現状

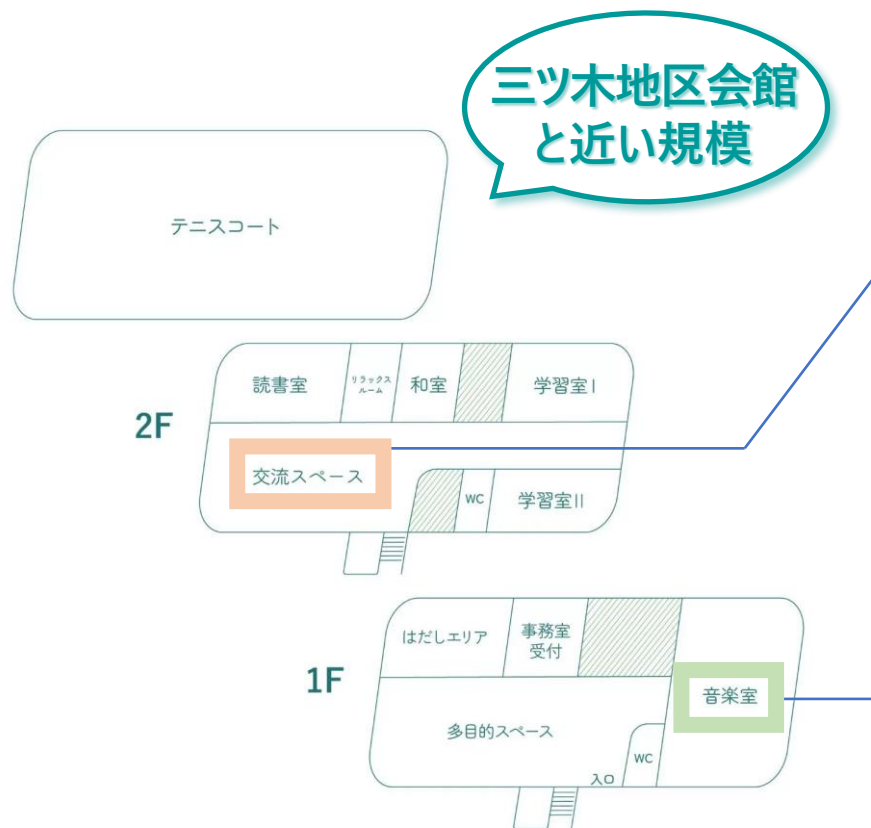
自発的な学習活動や交流の場として、施設・設備を提供している。

○主な機能

- ・集会室
- ・学習室（防音設備完備）
- ・休養室（和室）
- ・保育室
- ・実習室
- ・研修室
- ・Wi-Fi使用可
- ・図書館併設

参考事例)池ノ上青少年交流センター(世田谷区)

- 「やりたい」に挑戦できる若者の居場所として、さまざまな体験の場や地域との交流を提供する青少年交流施設
- 昭和54年に社会教育施設として開設され、平成26年に青少年交流施設としてリニューアル



交流スペースや多目的スペースではFree Wi-Fiの利用や飲食が可能



音楽室はバンドやダンスのイベントで利用されている

池ノ上青少年交流センターフロアマップ

(出典：池ノ上青少年交流センターホームページ、公益財団法人児童育成協会)